

## グローバル・ライフ株式ファンド（資産成長型） （愛称：ブライトライフ（資産成長型）） グローバル・ライフ株式ファンド（予想分配金提示型） （愛称：ブライトライフ（予想分配金提示型））

### 設定来の運用状況について

※以下のコメントは、カンドリアム・エス・シー・エーが提供するコメントを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

2023年8月7日

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

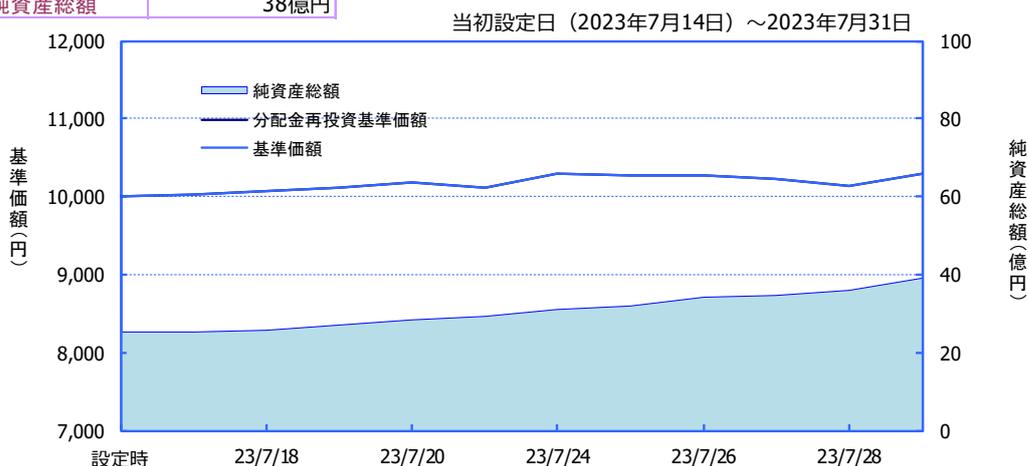
2023年7月14日に設定しました、「グローバル・ライフ株式ファンド（資産成長型）（愛称：ブライトライフ（資産成長型））」ならびに「グローバル・ライフ株式ファンド（予想分配金提示型）（愛称：ブライトライフ（予想分配金提示型））」の設定来の運用状況についてお知らせいたします。

#### ■ 基準価額・純資産の推移（2023年7月31日現在）

グローバル・ライフ株式ファンド（資産成長型）（愛称：ブライトライフ（資産成長型））

2023年7月31日現在

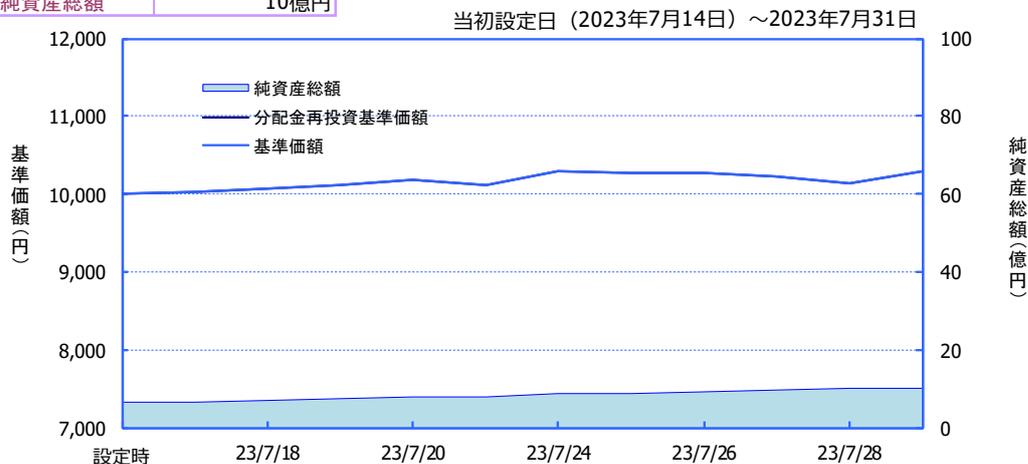
基準価額	10,287 円
純資産総額	38億円



グローバル・ライフ株式ファンド（予想分配金提示型）（愛称：ブライトライフ（予想分配金提示型））

2023年7月31日現在

基準価額	10,288 円
純資産総額	10億円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。  
 ※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。  
 ※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

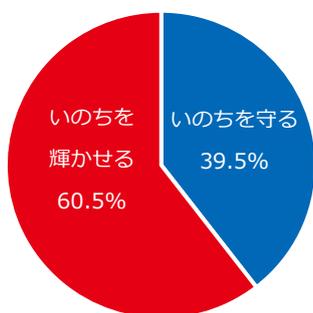
## 設定来の投資環境

グローバル株式市場は、様々な物価指標の下振れによりインフレ警戒感が後退したことに加えて、FRB（米国連邦準備制度理事会）高官発言などを背景に米国経済の見通しが改善したことから、設定日（2023年7月14日）より堅調な推移となりました。7月下旬のFOMC（米国連邦公開市場委員会）は利上げ幅を含めおおむね市場予想通りの結果となり、月末にかけて堅調な推移が継続しました。業種別では、ヘルスケアや金融が良好なパフォーマンスとなりました。

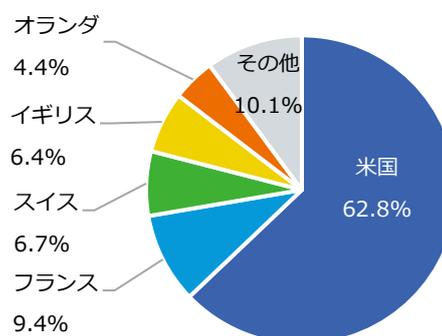
## 設定来の運用状況

当ファンドでは、運用開始以降、速やかにポートフォリオの構築を進め、7月31日時点で63銘柄に投資を行っています。足元の投資環境や個別銘柄の業績動向等を踏まえた結果、テーマ別構成は、「いのちを守る」が39.5%、「いのちを輝かせる」が60.5%となっています。国別では、米国が最も多く、続いてフランス、スイス、イギリスとなっています。なお日本への投資比率は1.9%です。業種別では、ヘルスケア、情報技術、資本財・サービスなどへバランスよく投資を行っています。個別銘柄では、ユナイテッドヘルス・グループ、プロクター・アンド・ギャンブル（P&G）、ネスレなどを組み入れています。なおファンドへの資金流入が続いているため、株式の組入比率は合計で94%程度となっています。

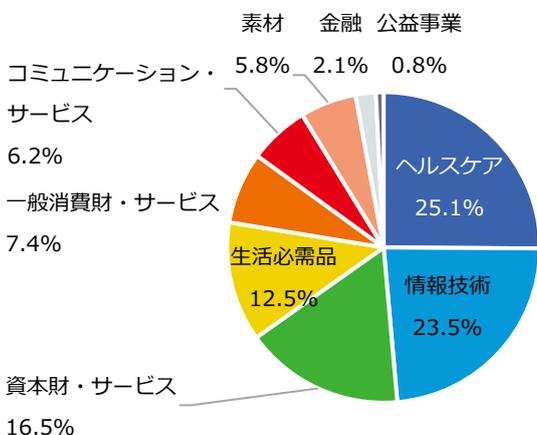
### テーマ別構成



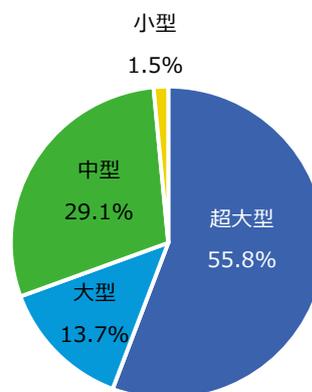
### 国・地域別構成



### 業種別構成



### 規模別構成



※比率は、キャッシュを除くポートフォリオ全体を100%とした場合の比率です。※国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。※規模別構成は時価総額がそれぞれ、超大型：500億米ドル以上、大型：200億米ドル以上500億米ドル未満、中型：50億米ドル以上200億米ドル未満、小型：50億米ドル未満です。※四捨五入の関係で比率の合計が100%にならない場合があります。※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

## 今後の相場見通し

堅調な労働市場を背景に米国経済はサービス業を中心に底堅さを見せています。足元のインフレ率は低下傾向を示しているものの、FRBによる今後の追加利上げや利下げへの転換は米国の労働市場次第であり、利下げは2024年以降になると考えています。

株式市場は、インフレ、金利のピークアウト観測が高まったことを好感し堅調な推移が続いています。3月の米国金融不安後はテクノロジー株のパフォーマンスが良好で、特に注目が集まっているAI（人工知能）関連などの一部の厳選された銘柄が株式市場をけん引しています。

FRBの利下げ開始時期が市場予想より遅れる可能性のあることや、年初から好調なパフォーマンスを続けていることから、今後の相場展開はやや落ち着きを取り戻すとみています。引き続き、経済指標や個別銘柄の決算など業績動向に注目が集まるとみています。

## 今後の運用方針

当ファンドでは、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」の2つのテーマに関連する企業の株式等に投資を行います。「いのちを守る」というテーマにおいては、医療、食料、環境など、生きていくうえで必要不可欠な分野における様々な課題を解決する企業に着目します。「いのちを輝かせる」というテーマにおいては、技術革新を通じて、より便利で豊かな生活を実現させる企業に着目します。

当ファンドの運用にあたっては、“いのち”にまつわる2つのテーマに関連する企業の中から、ESGスクリーニングやファンダメンタルズ分析等を実施することにより銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行う方針です。幅広い視点から投資を行うことで、様々な企業の成長機会を捉え、長期的に良好なパフォーマンスを生み出すことをめざします。

## 組入銘柄のご紹介①

 いのちを守る

**ホロジック（米国／ヘルスケア）**  **医療**

疾患の早期発見と治療を通じて女性の健康と幸福（ウェルビーイング）の向上に取り組むグローバル医療機器企業。女性のライフステージに影響する乳房、婦人科や骨密度に関連する疾患、子宮頸（けい）がんや性感染症に関連する検診や検査、治療のための革新的な製品やサービスを提供。体外診断や画像診断システム、組織採取装置や介入ソリューションなどの患者に優しい非侵襲的ソリューションを通じて、女性特有の疾患の診断に貢献している。

 **カンドリアム社の注目ポイント**

同社の技術や製品は長年にわたり女性の様々な健康分野において存在感を発揮している。企業努力による同社自身の持続可能な成長のみならず、買収も積極的に活用しており、ビジネスモデルが堅実である点が評価ポイント。また、積極的なマーケティング戦略を通じた専門家や患者に対する働きかけについても高く評価。例えば2022年には、女子テニス協会とWTAツアーのグローバルタイトルスポンサーとなるパートナーシップを発表したほか、スーパーボウルでは消費者向けコマーシャルを放映した。世界的な人口動態の変化や、それに伴う医療（検査や予防医療も含む）の重要性が増す中、同社が強みを持つ乳がん検診やヒトパピローマウイルス（HPV）検診は今後も安定した需要が見込まれ、同社は継続的な恩恵を受けることが期待される。

**DSMフィルメニツヒ（オランダ／素材）**  **食料**

栄養食品や香料などを手掛ける多国籍企業。顧客が栄養価の高い持続可能な食品・飲料を提供できるようにサポート。同社の技術は様々な形で温室効果ガスの削減に貢献。同社が開発した飼料添加物は、牛や羊などの腸内メタン放出量の削減に貢献している。

長期的な視野に立ったイノベーション主導の成長戦略を掲げ、すべての人に明るい生活を創造することに努めている。

 **カンドリアム社の注目ポイント**

同社は「すべての人々の明るい未来」を作り出すことを目的に、消費者が手頃な価格で購入しやすい製品を提供し、個人のニーズに合わせた健康的でバランスの取れた栄養のサポートをめざしている。例えば、同社が開発した「EVERSWEET™」は、ステビアの葉の成分を抽出して製造され、砂糖のような甘さを持つが自然由来でカロリー0の甘味料。また、経営陣は「グローバルな製品」、「地域に適したソリューション」、「精密かつ個人への最適化」の組み合わせによる独自かつ強力なビジネスモデルによる成長を推進しており、今後も大きな成長が見込まれる。質の高いM&A（企業の買収・合併）を通じて製品ラインアップを強化し、健康、栄養、バイオサイエンス分野において強いリーダーシップを構築・発揮している点も評価のポイント。

その他の組入銘柄：

エア・リキード（フランス／素材）、シーメンス・ヘルシニアーズ（ドイツ／ヘルスケア）、

ロシュ・ホールディング（スイス／ヘルスケア）など

（出所）カンドリアム社

※国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。

## 組入銘柄のご紹介②

 いのちを輝かせる

## シスコシステムズ（米国／情報技術）

利便性の  
向上

情報ネットワーク機器および関連サービスを提供する世界大手の通信機器メーカー。近年はネット接続用ルーター・スイッチなどのハードウェアに加えて、セキュリティやネットワークング・ソリューションなどのソフトウェアの開発にも注力し、顧客に対してネットワーク構築におけるハードとソフトの両面からのサービス提供をめざしている。

メタバースやその他の没入型体験の開発に不可欠なテクノロジー・ソリューションを提供。

 カンドリアム社の注目ポイント

最高品質のネットワーク機器の市場リーダーとして定評があり、巨大な顧客使用数を誇る企業。ネットワーク分野は、ルーターや通信機器本体のような物理的なハード機器の分野とソフトウェア、ネットワーク情報処理やセキュリティといったソフト分野に大きく分類できる。同社はWeb会議システム「Webex」を提供しており、拡張現実（AR）を活用したよりリアルなやり取りを可能とする新サービス「Webex Hologram」を発表するなど、ソフト分野でも積極的にビジネスを拡大させることに熱心である。このような新たな取り組みにより、利益水準の向上や安定した利益の創出、株価のバリュエーション水準の切り上がりが期待される。

## インフォルマ（イギリス／コミュニケーション・サービス）

自己実現  
の追求

専門分野におけるイベントの主催や、知見や学術コンテンツを提供する英国企業。法務・税務、製薬・医療、商品、金融などあらゆる分野のB2B（企業間取引）イベントを開催。

また、新聞、雑誌、電子メディア、書籍などの媒体を通じて専門情報やコンテンツを提供。企業や専門家向けに質の高い最先端の査読付きコンテンツを共有、視覚障害者や印刷物障害者がアクセス可能な資料も提供している。

 カンドリアム社の注目ポイント

高品質で最新の知識を創造し共有することをサポートする同社のビジネスは、科学の発展やイノベーションの基盤になっていると考えられ、今後も成長が見込まれる。また、同社の事業は多角化されており、顧客との関係やクロスセリング（既に興味のある分野に加え新たな分野のニーズを喚起すること）による明確な相乗効果が期待される。同社は学生の教科書や研究、論文の執筆など、学生から専門家に至るまで多様な顧客層との関係構築に重点を置いている。学術コンテンツの世界最大級の出版社として、アクセス可能な環境作りを重視し、あらゆる手段で資料を提供していることも評価のポイント。

その他の組入銘柄：

パロアルト・ネットワークス（米国／情報技術）、ピアソン（イギリス／一般消費財・サービス）、

ベントレー・システムズ（米国／情報技術）、アカマイ・テクノロジーズ（米国／情報技術）、

ソバ・ホールディング（スイス／ヘルスケア）など

（出所）カンドリアム社

※国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。

## 組入銘柄のご紹介③



日本企業



いのちを守る



食料

## クボタ（資本財・サービス）

トラクタ・田植機・コンバインなどの大型農業機械や、水管、産業用エンジンなどを製造。また、環境制御プラントやポンプの製造にも参入。農業の効率化が求められる中、ロボット技術やスマート農業をいち早く導入し、集約的な労働力を削減しつつも精度を高め、豊かで安定した食料生産への貢献に努めている。



## カンドリアム社の注目ポイント

稲作の多いアジアでは日本で磨き上げた稲作用機械を展開、機械化が進んでいないアフリカでは使いやすい農業機械で生産性向上に寄与するなど、各国の事情に合わせた製品を展開し、世界の安定した食料供給に貢献。農業人口の高齢化や農業規模の拡大に伴い、農産物を効率よく、高い品質で栽培しより多くの収量を得ることが世界的に重要となっている。自動化・無人化された農業機械は、傾斜のある農地でもハンドルを握ることなく作業が可能。

## オリンパス（ヘルスケア）



医療

世界的な医療機器メーカー。設立当初は顕微鏡と体温計に特化していたが、カメラ、医療・手術機器へと事業を多角化。近年ではポートフォリオ再編により純粋な医療機器メーカーとなり、現在は、大腸内視鏡検査でNo.1の地位を確立している内視鏡事業と、治療機器事業の2つの主要事業を展開。



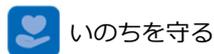
## カンドリアム社の注目ポイント

厚生労働省が指針で検診を勧める5つのがんのうち、4つ（肺がん、胃がん、大腸がん、前立腺がん）の領域において存在感を発揮。新興企業の参入が難しいハイエンド分野に注力するアプローチや、消化器内視鏡検査でリーダーシップを発揮していることなどを評価。また、同社はAI（人工知能）開発に積極的に取り組み、より正確な診断につながるスマート機能の搭載を進めている。

（出所）カンドリアム社

※国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。

## 組入上位10銘柄（2023年7月31日時点）



いのちを守る



いのちを輝かせる

銘柄名（国・地域名／業種名）	銘柄紹介	比率
ユナイテッドヘルス・グループ （米国/ヘルスケア）	<p>医療保険や医療サービスを手掛ける米大手ヘルスケア企業。雇用主・消費者向けの医療保険や、「メディケア・アドバンテージ」などの高齢者向けの医療保険、「メディケイド」などの低所得者向けの医療保険などを扱う。 また、テクノロジーを活用した医療サービスの質向上をめざし、医薬品のコストや疾病管理の観点から保険者への薬剤給付の適正なマネジメントを行う薬剤給付管理サービスなどを手掛ける。</p>	4.4%
プロクター・アンド・ギャンブル （P & G） （米国/生活必需品）	<p>グローバルに事業を展開する世界最大の日用消費財メーカー。洗濯用洗剤や芳香剤、紙おむつ、シャンプー、かみそり等、あらゆる製品を提供。現在、そして次世代の世界の消費者の生活を向上させるという企業目的のもと、180年以上にわたり多くの消費者に優れた品質と価値を備えた製品とサービスを提供している。 近年は、消費者が日常的に使用する製品に焦点を当てた製品ラインアップに変革中。</p>	4.3%
ネスレ （スイス/生活必需品）	<p>多様な製品カテゴリーを持ち、世界約190カ国で事業を展開する大手食品飲料会社。製品カテゴリーには、飲料、乳製品、栄養・調理補助食品、菓子、ペットケアなどがあり、積極的な研究開発投資により持続可能な製品の展開に努めている。手頃な価格で栄養価の高い食事へのアクセスを提供することにより、人々の健康で幸せな生活の実現をサポート。</p>	4.2%
マイクロソフト （米国/情報技術）	<p>ソフトウェア製品の開発、クラウドサービス等を行うIT業界のマーケットリーダー。同社のクラウドサービスは、データセンターのエネルギー効率を高めることや、再生可能エネルギーを調達することで、高い炭素効率性を実現。 メタバース関連事業としては、クラウドサービス、ハードウェア、ゲームプラットフォームを手掛ける。</p>	4.1%
D S Mフィルメニッヒ （オランダ/素材）	<p>栄養食品や香料などを手掛ける多国籍企業。顧客が栄養価の高い持続可能な食品・飲料を提供できるようにサポート。同社の技術は様々な形で温室効果ガスの削減に貢献。同社が開発した飼料添加物は、牛や羊などの腸内メタン放出量の削減に貢献している。 長期的な視野に立ったイノベーション主導の成長戦略を掲げ、すべての人に明るい生活を創造することに努めている。</p>	3.6%
シスコシステムズ （米国/情報技術）	<p>情報ネットワーク機器および関連サービスを提供する世界大手の通信機器メーカー。近年はネット接続用ルーター・スイッチなどのハードウェアに加えて、セキュリティやネットワークング・ソリューションなどのソフトウェアの開発にも注力し、顧客に対してネットワーク構築におけるハードとソフトの両面からのサービス提供をめざしている。 メタバースやその他の没入型体験の開発に不可欠なテクノロジー・ソリューションを提供。</p>	3.2%
ホロジック （米国/ヘルスケア）	<p>疾患の早期発見と治療を通じて女性の健康と幸福（ウェルビーイング）の向上に取り組むグローバル医療機器企業。女性のライフステージに影響する乳房、婦人科や骨密度に関連する疾患、子宮頸（けい）がんや性感染症に関連する検診や検査、治療のための革新的な製品やサービスを提供。体外診断や画像診断システム、組織採取装置や介入ソリューションなどの患者に優しい非侵襲的ソリューションを通じて、女性特有の疾患の診断に貢献している。</p>	3.1%
アルファベット （米国/ コミュニケーション・サービス）	<p>インターネット検索のGoogleなどを傘下を持つ持株会社。Android、Chrome、Google Maps、YouTube、Gmailなど数多くの製品やサービスを展開。人工知能や機械学習、自律走行、クラウドインフラ、量子計算など、広範な最新テクノロジーに積極的に取り組んでいる。 AI（人工知能）分野では、2014年にAI開発企業ディープマインドを買収して以来、AI製品の開発と商業化に向けて大規模な投資を行っている。</p>	2.9%
インフォルマ （イギリス/ コミュニケーション・サービス）	<p>専門分野におけるイベントの主催や、知見や学術コンテンツを提供する英国企業。法務・税務、製薬・医療、商品、金融などあらゆる分野のB2B（企業間取引）イベントを開催。 また、新聞、雑誌、電子メディア、書籍などの媒体を通じて専門情報やコンテンツを提供。企業や専門家向けに質の高い最先端の査読付きコンテンツを共有、視覚障害者や印刷物障害者がアクセス可能な資料も提供している。</p>	2.2%
エシロールルックスオティカ （フランス/ヘルスケア）	<p>フランスの大手光学機器メーカー。フランスのメガネレンズメーカー大手エシロールと、イタリアのアイウェアメーカー大手ルックスオティカが2018年に合併して誕生。視力補正用レンズや光学機器を製造・販売。有名ブランドのメガネ・サングラスをライセンス生産するほか、人気アイウェアブランドを傘下に置いている。視力矯正と目の保護に対する人々のニーズを支援している。</p>	2.2%

※国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。※比率は、キャッシュを除くポートフォリオ全体を100%とした場合の比率です。※個別企業の推奨を目的とするものではありません。

## 収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

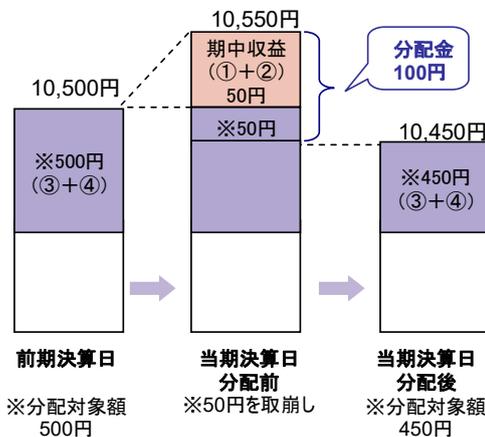
投資信託で分配金が支払われるイメージ



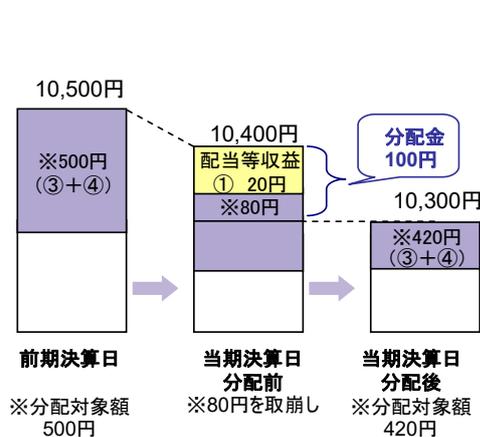
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算日から基準価額が上昇した場合



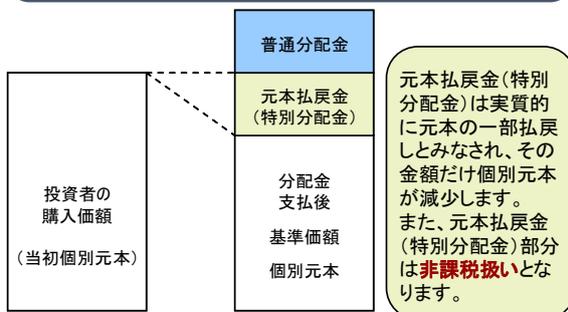
#### 前期決算日から基準価額が下落した場合



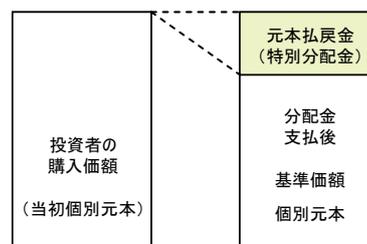
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

## 《ファンドの目的・特色》

### ファンドの目的

- ・日本を含む世界の株式等の中から、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」の 2 つのテーマに関連する企業の株式等に投資し、信託財産の成長をめざします。

### ファンドの特色

- ・日本を含む世界の株式等の中から、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」の 2 つのテーマに関連する企業の株式等に投資します。
- ・運用にあたっては、カンドリアム・エス・シー・エーから助言を受けます。なお、株式等にかかる議決権の行使に関する権限は、カンドリアム・エス・シー・エーに委託します。
- ・分配方針の異なる 2 つのファンドがあります。

## 《投資リスク》

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の変動要因は、以下のとおりです。

価格変動リスク・信用リスク 株価の変動	<p>組入資産の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。</p> <p>株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。</p> <p>当ファンドは、特定の分野に関連する銘柄に投資しますので、こうした銘柄の下落局面では、基準価額が大きく下落することがあります。</p> <p>また、当ファンドは中小型株式に投資することがあります。中小型の株式については、株式市場全体の動きと比較して株価が大きく変動するリスクがあり、当ファンドの基準価額に影響する可能性があります。</p> <p>新興国の証券市場は、先進国の証券市場に比べ、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。</p>
価格変動リスク・信用リスク リートの価格変動	<p>組入資産の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。</p> <p>リートの価格は、不動産市況の変動、リートの収益や財務内容の変動、リートに関する法律制度の変更等の影響を受けます。</p>
為替変動リスク	<p>外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。</p> <p>特に、新興国の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。</p>
カントリー・リスク	<p>投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。</p> <p>新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。</p>
その他	<p>解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。</p>

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

## 《ファンドの費用》

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限) <b>3.3%(税抜3.0%)</b>	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	<b>年率1.7985%</b> <b>(税抜1.635%)</b>	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
配分 (税抜) (注1)	委託会社	年率0.91%
	販売会社	年率0.70%
	受託会社	年率0.025%
その他の費用・ 手数料	(注2)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

(注2)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問い合わせ下さい。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

## 「お申込みメモ」

購入単位	最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位
購入価額	① 当初申込期間 1万口当たり1万円 ② 継続申込期間 購入申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり）
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払い下さい。
換金単位	最低単位を1口単位として販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり）
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
申込受付中止日	① ニューヨーク証券取引所またはロンドン証券取引所の休業日 ② ①のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日 (注) 申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。
申込締切時間	① 当初申込期間 当初申込期間最終日の販売会社所定の時間まで (販売会社所定の事務手続きが完了したもの) ② 継続申込期間 午後3時まで (販売会社所定の事務手続きが完了したもの)
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。
購入・換金申込受付 の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情が発生した場合には、購入、換金の申込みの受け付けを中止すること、すでに受け付けた購入、換金の申込みを取消すことがあります。
繰上償還	<ul style="list-style-type: none"> <li>● マザーファンドの信託財産につきカンドリアム・エス・シー・イーと締結した運用の助言および議決権行使権限の委託にかかる契約が終了し、マザーファンドがその信託を終了させることとなる場合には、委託会社は、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了（繰上償還）させます。</li> <li>● 次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、繰上償還できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受益権の口数が30億口を下ることとなった場合</li> <li>・ 信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき</li> <li>・ やむを得ない事情が発生したとき</li> </ul> </li> </ul>
収益分配	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グローバル・ライフ株式ファンド（資産成長型） 年2回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 (注) 当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。</li> <li>・ グローバル・ライフ株式ファンド（予想分配金提示型） 年4回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 (注) 当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。</li> </ul>
課税関係	<p>課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。なお、当ファンドの非課税口座における取扱いは販売会社により異なる場合がありますので、くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。</p> <p>※税法が改正された場合等には変更される場合があります。</p>

設定・運用:

### 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
一般社団法人投資信託協会  
加入協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

加入協会

## 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

グローバル・ライフ株式ファンド（資産成長型）（愛称：ブライトライフ（資産成長型））  
 グローバル・ライフ株式ファンド（予想分配金提示型）（愛称：ブライトライフ（予想分配金提示型））

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第7号	○	○		
株式会社埼玉りそな銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第593号	○	○		
株式会社みなと銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第22号	○	○		
株式会社りそな銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第3号	○	○	○	

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。